

苦小だより

校長室だより
令和5年12月1日(金)
令和5年度第12号

自ら課題を見付ける 探求する学習

校長 熊倉一弘

茶褐色の地面が真っ白な雪で覆われる季節になりました。苦前町にもいよいよ冬がやってきました。先週から今週にかけてのインフルエンザ等の流行で、本校では学校閉鎖措置を実施するなど、感染防止に万全を期すよう配慮いたしました。しかし、全道的な流行が続く中、今後も油断はできません。学校では引き継ぎ、うがい手洗い、マスクの着用を励行します。ご家庭でも、落ち着くまでは、感染防止への配慮をお願いします。また上記の理由により学習参観日をやむを得ず中止いたしました。学期末の学習参観を楽しみにしていらした保護者の皆様には申し訳なく思います。ただ個人懇談会はほとんどの学年で予定通り実施します。2学期のお子さん一人一人の成長についてお伝えしますので、ご了承ください。

さて、お家では、テレビやスマホなどに夢中になっている子どもさんに、「勉強しなさい！」と学習を促すことがよくあるのではないでしょうか。学校でも、時折子どもたちに、「しっかり勉強をしましょう！」とはっぱをかけることがあります。この「勉強」の意味を調べると、「無理にでも努力して励むこと」とあります。確かに、子どもにとって学校や家庭での学習には、本当は遊びたいところを無理をして机に向かわなければならないイメージがありますね。やりたくないことでもやり抜く気持ちや経験は大事だと思います。しかしながら、これからのお子さんの学びで大切なのは「無理して」学習に向かうのではなく、自ら進んで課題の解決に向かって学んでいく姿勢だと考えます。

今年度、本校6年生では、北海道フロンティアキッズ育成事業として、私たちが住んでいる苦前町の環境の良さや課題を見つめ直し、SDGsの視点から考えていく学習を進めてきました。はじめに、「SDGsとは何か？」について学び、苦前町の環境について、地域に出て実際に見学したり、インタビューをしたり、さらには、関係の施設の方々に学校に来ていただきお話を聞いたりしながら地域の環境における課題などをまとめていきました。これらの過程を通して、子どもたちは、「SDGsの視点から苦前町の未来を考える」という課題に向かって自分から調べたり、考えたり、互いに意見を交流したりしながら「地域未来図」を作成していました。

このように、約半年間にわたり、自分で課題を見付け、解決の方法を探求していく学習を体験しました。それらの学習の成果は、11月20日(月)に、同じく指定を受けた全道の6校の児童が参加した成果発表会で「SDGsの視点から見た苦前町の未来」のテーマで発表しました。これらの活動は、子どもたちが自らの課題解決に向かって探求していく貴重な経験となりました。



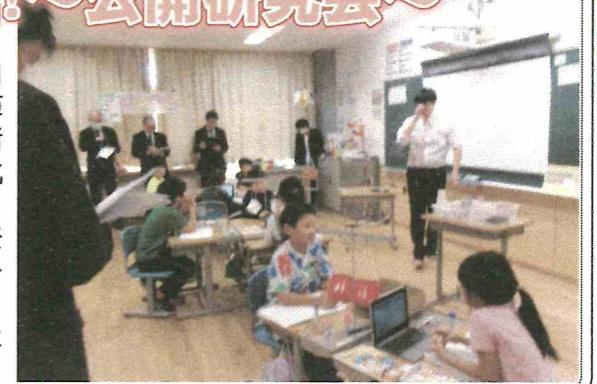
風車工事の見学



成果発表会の様子

苦小つ子のがんばりを発信!～公開研究会～

今年度の苦前町教育研究協議会指定研究大会を先月16日(木)に本校を会場に実施しました。当日は、3年生の算数科の学習を町内各校から約50名の先生方や教育関係者の方々に参観していただきました。「基準を決めて重さを比べる」学習の中で、子どもたちは3つのグループに分かれ、はさみやスポンジ、電池、それぞれの重さの違いを天秤を使い工夫しながら比べるとともに、端末を活用し各グループの考え方を比較し互いの考えを深めることができました。参観してくださった方々は活発に意見を述べ合う子どもたちのことをとても褒めてくださいました。



いじめのない学校に～いじめアンケート調査～

今年度2回目のいじめアンケート調査を実施しました。結果を見ると多くが元気に楽しく学校生活を送っているようでしたが、なかには「仲間はずれや無視をされる」「ひやかしやからかい、悪口をいわれる、たたかれたり、けられたりする」などの「いやな思い」を経験をしている児童が十数名いました。そこで、当該の児童には、教育相談を通して、詳しい内容の聞き取りを進めたところ、多くは少しの行き違いや既に解決していたりしたものでしたが、相談の中にはこれからも十分に見守っていく必要があると思われる事例もありましたので、指導を継続していきたいと考えています。

いじめの未然防止・早期発見・解決を図るために、日頃から子どもを十分に見つめ、いじめをいわゆる「小さい芽」のうちに積むことが大切です。学校では、普段の生活から細かく児童の様子を見守り、いじめにつながる小さな出来事を逃さないように努めて指導しております。ご家庭においてもお子さんの些細な変化などがありましたら、お知らせいただくようお願いします。子どもは互いに切磋琢磨しながら、様々なことを学び、成長していくものです。その過程の関わりの中では、子ども同士の関係がうまくいかないことで意見の対立などがあるものです。しかしながら、行き過ぎた言動や自分がされたり言われたりすることが嫌なことについては、厳に慎まなければなりません。学校では、子どもの様子を日頃より注意深く見守り、学年の発達段階に応じて時には厳しく指導をするつもりです。また、日常の生活を通して、他者を思いやる心の大切さなどを学習させていこうと考えています。子どもたちの健やかな成長のために、ともに手を携えて前進していきたいと考えておりますので、これからもご理解とご協力をお願い致します。

12月の行事予定

- 4日(月) 全校朝会
5日(火) 練習日課
6日(水) 学力テスト
7日(木) 6年生中学校体験学習
8日(金) 読み聞かせ
11日(月) TRYタイム
13日(水) 委員会活動

- 15日(金) 大掃除週間
16日(土) どさんこ☆子ども地区会議
18日(月) 移動図書室
22日(金) 2学期終業式
23日(日) 冬期休業開始
29日(金) 学校閉庁日
30日(土) 学校閉庁日
31日(金) 学校閉庁日

道教委主催の事業で、
今年も児童会代表がオンラインで参加します。

冬休みは12月23日(金)～1月15日(月)までです。今後、各学年で冬休みの計画を立てます。

学校閉庁日は、1月8日(月)までとなっております。ご協力をお願いいたします。

苦小だより

校長室だより
令和5年12月1日(金)
令和5年度第12号

自ら課題を見付ける 探求する学習

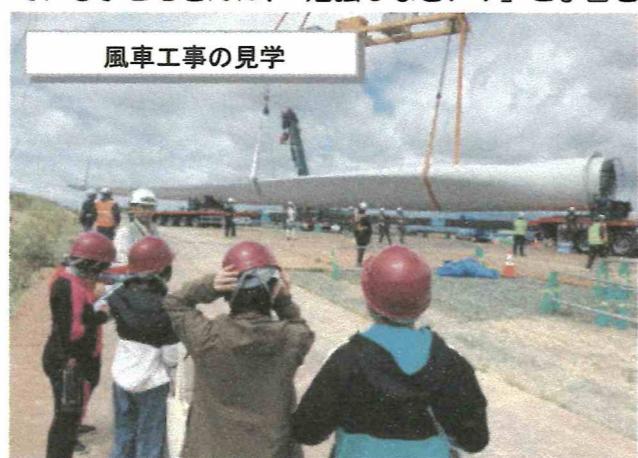
校長 熊倉一弘

茶褐色の地面が真っ白な雪で覆われる季節になりました。苦前町にもいよいよ冬がやってきました。先週から今週にかけてのインフルエンザ等の流行で、本校では学校閉鎖措置を実施するなど、感染防止に万全を期すよう配慮いたしました。しかし、全道的な流行が続く中、今後も油断はできません。学校では引き継ぎ、うがい手洗い、マスクの着用を励行します。ご家庭でも、落ち着くまでは、感染防止への配慮をお願いします。また上記の理由により学習参観日をやむを得ず中止いたしました。学期末の学習参観を楽しみにしていらした保護者の皆様には申し訳なく思います。ただ個人懇談会はほとんどの学年で予定通り実施します。2学期のお子さん一人一人の成長についてお伝えしますので、ご了承ください。

さて、お家では、テレビやスマホなどに夢中になっている子どもさんに、「勉強しなさい！」と学習を促すことがよくあるのではないでしょうか。学校でも、時折子どもたちに、「しっかり勉強をしましょう！」とはっぱをかけることがあります。この「勉強」の意味を調べると、「無理にでも努力して励むこと」とあります。確かに、子どもにとって学校や家庭での学習には、本当は遊びたいところを無理をして机に向かわなければならないイメージがありますね。やりたくないことでもやり抜く気持ちや経験は大事だと思います。しかしながら、これからのお子さんの学びで大切なのは「無理して」学習に向かうのではなく、自ら進んで課題の解決に向かって学んでいく姿勢だと考えます。

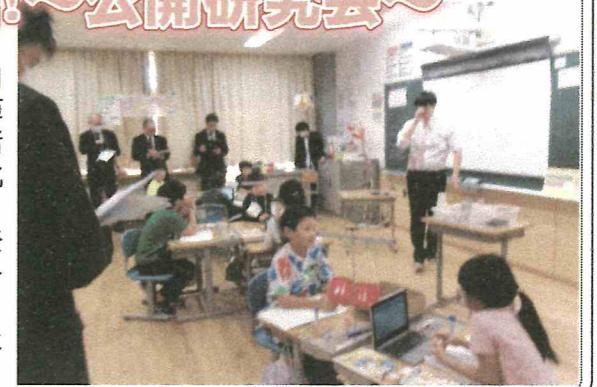
今年度、本校6年生では、北海道フロンティアキッズ育成事業として、私たちが住んでいる苦前町の環境の良さや課題を見つめ直し、SDGsの視点から考えていく学習を進めてきました。はじめに、「SDGsとは何か？」について学び、苦前町の環境について、地域に出て実際に見学したり、インタビューをしたり、さらには、関係の施設の方々に学校に来ていただきお話を聞いたりしながら地域の環境における課題などをまとめていきました。これらの過程を通して、子どもたちは、「SDGsの視点から苦前町の未来を考える」という課題に向かって自分から調べたり、考えたり、互いに意見を交流したりしながら「地域未来図」を作成していました。

このように、約半年間にわたり、自分で課題を見付け、解決の方法を探求していく学習を体験しました。それらの学習の成果は、11月20日(月)に、同じく指定を受けた全道の6校の児童が参加した成果発表会で「SDGsの視点から見た苦前町の未来」のテーマで発表しました。これらの活動は、子どもたちが自らの課題解決に向かって探求していく貴重な経験となりました。



苦小つ子のがんばりを発信!～公開研究会～

今年度の苦前町教育研究協議会指定研究大会を先月16日(木)に本校を会場に実施しました。当日は、3年生の算数科の学習を町内各校から約50名の先生方や教育関係者の方々に参観していただきました。「基準を決めて重さを比べる」学習の中で、子どもたちは3つのグループに分かれ、はさみやスポンジ、電池、それぞれの重さの違いを天秤を使い工夫しながら比べるとともに、端末を活用し各グループの考え方を比較し互いの考えを深めることができました。参観してくださった方々は活発に意見を述べ合う子どもたちのことをとても褒めてくださいました。



いじめのない学校に～いじめアンケート調査～

今年度2回目のいじめアンケート調査を実施しました。結果を見ると多くが元気に楽しく学校生活を送っているようでしたが、なかには「仲間はずれや無視をされる」「ひやかしやからかい、悪口をいわれる、たたかれたり、けられたりする」などの「いやな思い」を経験をしている児童が十数名いました。そこで、当該の児童には、教育相談を通して、詳しい内容の聞き取りを始めたところ、多くは少しの行き違いや既に解決していたりしたものでしたが、相談の中にはこれからも十分に見守っていく必要があると思われる事例もありましたので、指導を継続していきたいと考えています。

いじめの未然防止・早期発見・解決を図るために、日頃から子どもを十分に見つめ、いじめをいわゆる「小さい芽」のうちに積むことが大切です。学校では、普段の生活から細かく児童の様子を見守り、いじめにつながる小さな出来事を逃さないように努めて指導しております。ご家庭においてもお子さんの些細な変化などがありましたら、お知らせいただくようお願いします。子どもは互いに切磋琢磨しながら、様々なことを学び、成長していくものです。その過程の関わりの中では、子ども同士の関係がうまくいかないことで意見の対立などがあるものです。しかしながら、行き過ぎた言動や自分がされたり言われたりすることが嫌なことについては、厳に慎まなければなりません。学校では、子どもの様子を日頃より注意深く見守り、学年の発達段階に応じて時には厳しく指導をするつもりです。また、日常の生活を通して、他者を思いやる心の大切さなどを学習させていこうと考えています。子どもたちの健やかな成長のために、ともに手を携えて前進していきたいと考えておりますので、これからもご理解とご協力をお願い致します。

12月の行事予定

- 4日(月) 全校朝会
移動図書室
5日(火) 練上日課
TRYタイム
SC、SSW来校
町P連研究大会
6日(水) 学力テスト
クラブ活動
7日(木) 6年生中学校体験学習
8日(金) 読み聞かせ
11日(月) TRYタイム
練上日課
13日(水) 委員会活動

- 15日(金) 大掃除週間
16日(土) どさんこ☆子ども地区会議
18日(月) 移動図書室
22日(金) 2学期終業式
23日(日) 冬期休業開始
29日(金) 学校閉庁日
30日(土) 学校閉庁日
31日(金) 学校閉庁日

道教委主催の事業で、
今年も児童会代表がオンラインで参加します。

冬休みは12月23日(金)～1月15日(月)までです。今後、各学年で冬休みの計画を立てます。

学校閉庁日は、1月8日(月)までとなっております。ご協力をお願いいたします。